

法然上人行状絵図

聖如房の御事こそ返々あさましく候へ
乃至たゞ例ならぬ御事大事になどうけ
給はり候はむだにもいま一度は見まい
らせたくさはりまでの御念仏の事おぼ
つかなくこそ思まいらせ候べきにま
て心にかけてつねに御たづね候らむこ
そもまことにあはれにも心ぐるしくもお
もひまいらせ候へ左右なくうけ給候ま
いにまいり候て見まいらせたく候へど
もおもひきりてしはしいでありき候は
下念仏申はゞやと思はじめたる事の候
をやうにこそよる事にて候へこれをば
退してもまいるべきにて候に又思候へ
ば詮じてはこの世の見参とてもかくて
も候なんかばねを執するまどひにもな
り候ぬべしたれとてもとまりはつべき
身にても候はず我も人もたゞをくれさ
きだつかはりめばかりにてこそ候へ

為

令和 年 月 日

淨写